

## 都内におけるブルーベリー・ラビットアイ系品種栽培の現状

窪田洋二・神 雅子

(園芸部)

## 【目的】

ブルーベリーは機能性成分を多く含む果実として需要が見込まれる果樹であり、都内の栽培面積は今後も増加すると思われる。そこで、都内の生産条件にあったブルーベリーの栽培方法を検討し、栽培の指針とする。ここでは、都内各地域での主要なラビットアイ系品種の生育について現状を調査する。

## 【試験方法】

都内のブルーベリー圃場6地点に定植されている主要ラビットアイ系品種‘ティフブルー、ホームベル’の生育を調査した。果実品質は収穫始期の果実を20粒を用いた。

## 【成果の概要】

1) 調査地点は、標高差では最大で200m以上、土壌は3タイプであった。土壌pHはいずれの地点もpH(H<sub>2</sub>O)で6以下であり、酸性への矯正は行われていた(表1)。

2) ‘ティフブルー’の樹齢は3~20年生であった。株直径、樹高は3年生以降で1m以上になっていた。葉身長は平均で60mm、葉色は45.9であった。A地点の葉色がやや低いと思われた。先端部新梢長は平均で44.3cmとなったが、30cm以上で十分な樹勢と思われた。中間部新梢長は標高の低い地点で長い傾向があった。花芽着生率は先端部新梢で平均22.4%、中間部で32.0%となり、中間部は標高の低い地点で高い傾向にあった(表2)。

3) ‘ティフブルー’の平均1果重は1.5g、糖度は12.4%、pHは2.5であった。糖度は標高の低い地点で高い傾向があった。pHは土壌pHが低い地点で比較的低くなっていた。1花芽あたりの果実数は平均5.9個で、A地点では低かった。推定収量は10a当たり3000kg近くもあるが、おおむね5年生以上で1000kg以上となると思われた(表3)。

4) ホームベルの樹齢は4年から20年生まで見られた。4年生以降で株直径、樹高は1mを越えていた。葉身長は平均64mmで地点による違いは見られなかった。葉色は平均38.8で地点による差は見られなかった。先端部新梢長は平均35.5cm、中間部で9.5cmであった。A地点は先端部新梢の花芽着生率が‘ティフブルー’同様低かった。中間部の花芽着生率も‘ティフブルー’同様の傾向が見られた(表4)。

5) ‘ホームベル’の平均1果重は1.3g、糖度は13.4%、pHは2.9であった。糖度は標高100m以上ではやや低かった。pHは‘ティフブルー’同様の傾向が見られた。1花芽あたりの果実数は平均6個で、A地点では低かった。5年生以降で推定収量は500~2000kgであった(表5)。

6) 以上の結果から、ラビットアイ系品種‘ティフブルー、ホームベル’は、今回の都内調査地点における生育は優れ、適応性のある品種と判断した。

表1 調査地点の概要

調査地点	標高(m)	土壌	pH(H <sub>2</sub> O)	EC(mS/cm)
A 日の出町	270	褐色森林土	4.51	0.15
B 日の出町	160	黒ボク土	4.79	0.12
C 日野市	100	黒ボク土	5.56	0.08
D 日野市	60	灰色低地土	4.90	0.10
E 立川市	80	灰色低地土	5.77	0.07
F 杉並区	55	黒ボク土	4.46	0.16

表2 ティフブルーの樹体生育

樹齢 (年生)	株直径 (m)	樹高 (m)	葉身長 (mm)	葉色 (SPAD値)	先端部新梢生育		中間部新梢生育		シュート数	
					長さ (cm)	花芽着生率 (%)	長さ (cm)	花芽着生率 (%)	不定芽由来 (本/樹)	地下茎由来 (本/樹)
A 7	1.6	1.8	56	41.9	57.2	7.3	4.7	23.1	3.0	2.0
B 6	1.8	1.9	66	47.3	46.8	24.3	7.3	25.3	11.3	2.0
C 5	1.9	2.1	65	51.7	33.5	25.9	7.0	30.7	21.3	1.3
D 20	3.0	2.3	55	43.4	42.7	17.0	7.6	31.9	15.7	7.3
D 10	1.7	1.7	58	46.6	35.5	19.5	7.1	29.4	11.2	6.7
D 8	2.6	2.0	54	46.0	28.3	21.9	6.6	26.9	6.7	6.0
E 15	1.2	1.3	63	45.0	75.9	27.0	14.8	49.0	0.0	4.5
F 3	1.4	1.4	58	45.0	34.8	36.2	10.6	40.0	6.0	4.0
平均	—	—	60	45.9	44.3	24.5	8.2	32.0	—	—

表3 ティフブルーの果実品質および収量

採取日 (月/日)	1 果実重			糖度 (%)	pH	1花芽当たり 果実数 (個/花芽)	株当たり 花芽数 (花芽/樹)	推定収量	
	平均 (g)	最大値 (g)	最小値 (g)					株当たり (kg/株)	10a当たり (kg/10a)
A 8/7	1.2	1.6	1.0	11.4	2.3	4.1	636	3.1	786
B 7/22	1.7	2.5	1.1	12.3	2.6	6.5	831	9.0	2,268
C 7/19	1.9	2.6	1.5	13.0	2.6	6.0	1,028	11.7	1,971
D 7/17	1.6	2.3	1.2	12.5	2.6	6.6	1,880	19.4	1,200
D 7/17	1.5	2.1	1.2	13.0	2.6	5.7	1,214	10.5	1,304
D 7/17	1.5	2.0	1.2	13.4	2.6	5.7	2,760	23.6	2,924
E 7/14	1.5	2.0	1.2	13.6	2.7	6.0	500	4.4	746
F 7/21	1.3	1.7	0.9	14.1	2.3	6.7	337	2.9	178
平均	1.5	2.1	1.2	12.9	2.5	5.9	—	—	—

表4 ホームベルの樹体生育

樹齢 (年生)	株直径 (m)	樹高 (m)	葉身長 (mm)	葉色 (SPAD値)	先端部新梢生育		中間部新梢生育		シュート数	
					長さ (cm)	花芽着生率 (%)	長さ (cm)	花芽着生率 (%)	不定芽由来 (本/樹)	地下茎由来 (本/樹)
A 7	1.8	1.8	61	36.4	38.9	9.1	8.6	27.6	3.0	3.3
B 7	1.8	1.9	67	39.6	36.5	29.4	12.9	32.1	10.0	8.3
C 5	2.1	2.0	71	42.1	38.4	23.2	11.8	32.9	22.0	0.7
D 10	1.6	1.3	58	39.4	25.6	33.8	6.8	33.3	3.3	3.3
D 20	2.5	2.1	61	38.6	34.4	37.6	8.2	30.5	10.0	7.0
E 15	1.3	1.2	70	40.0	52.1	21.3	7.0	44.8	0.0	19.5
F 4	1.3	1.2	57	35.1	22.8	44.5	11.0	42.4	3.0	4.7
平均	—	—	64	38.8	35.5	31.6	9.5	34.8	—	—

表5 ホームベルの果実品質および収量

採取日 (月/日)	1 果実重			糖度 (%)	pH	1花芽当たり 果実数 (個/花芽)	株当たり 花芽数 (花芽/樹)	推定収量	
	平均 (g)	最大値 (g)	最小値 (g)					株当たり (kg/株)	10a当たり (kg/10a)
A 8/7	1.2	1.7	0.9	13.0	2.5	4.0	675	3.1	787
B 7/22	1.3	1.7	0.9	12.6	2.8	6.3	910	7.7	1,934
C 7/19	1.6	2.4	1.2	12.5	3.1	7.3	837	10.0	1,680
D 7/17	1.6	2.2	1.2	14.8	3.0	5.9	410	3.7	463
D 7/17	1.5	2.1	1.1	13.5	3.0	6.4	2,436	23.7	1,470
E 7/13	0.8	1.2	0.4	13.6	3.2	6.0	750	3.5	593
F 7/21	1.0	1.4	0.6	13.9	2.6	6.5	188	1.2	102
平均	1.3	1.8	0.9	13.4	2.9	6.0	—	—	—